

# ふだん着の鎌倉

2008.5

**圧巻！安養院のツツジと  
知れば知るほど好きになる街・大町**



携帯サイトでもご覧いただけます

<http://today.jp/>

▶ PCの方は <http://kamakuratoday.com/>

ゴールデンウィークが近くなると、気になり始めるのが安養院のツツジのこと。「今年のツツジはどうか？」静かな大町の雰囲気から徒歩15分といったところですが、まあそんな慌てずゆっくりと歩いてみませんか。大町は、歩けば歩くほど親しみがわき、知れば知るほど好きになる、そんな街です。

鎌倉駅東口から若宮大路を海の方へ。下馬四つ角を左に曲がって踏切を抜け、大町四つ角方面へと向かいます。観光客の姿よりも、夕ご飯の買い物客や、子供を自転車に乗せたお母さんの姿などが目立ち始める大町の通り。飾り気のない鎌倉の日常がさりげなく顔をのぞかせ、ほっとするような親しみやすさと懐かしさが肌に伝わってきます。最近ではカフェやレストランなど、新しいお店も出来はじめているこの界隈ですが、昔から地元の人に愛され続けているお店もたくさんあります。最初に立ち寄ってみた**北村牛肉店**さんも、そんなお店の1つ



出来立てのお惣菜が並ぶ



北村牛肉店

です。この土地にお店を構えて90年になること。1つ105円のコロケは、北海道男爵いもの甘みと、上質な和牛の旨味がぎゅっと詰まった、シンプルで飽きのこない味。「食材が全て」と、やさしい笑顔のご主人。「良い食材を使って、手を抜かずにていねいに作る。それだけですよ。」90年間、製法はずっと変えていないのだそうです。



懐かしい佇まい



日進堂、様々なパンがずらり！



道路を渡って**日進堂**さんへ。こちらは60年近く続くパン屋さん。驚かされるのが、パンの種類が多さ！ずらっと並ぶ調理パンや菓子パンは、50〜70種類くらいはあるそうで、選ぶのに迷ってしまう程。添加物を使っていない素朴な味のパンは、小さなお子さんからお年を召した方まで幅広い年代にファンが多く、最近特に人気があるのはカレーパンだとか。外側カリカリ、カレーの辛さと生地のがさがじわっと広がってクセになりそう。いつかどこかで食べたような、懐かしくてやさしい味。なんだか『大町』と似ていますね。

さて、もう一度道路を渡って**安養院**へ。道に沿いのツツジの垣根が真っ赤に染まり、歩道を屋根のように覆う光景は、圧巻の一言。その屋根をくぐり抜けて向かう山門前も、鮮やかなツツジでこんもりと飾られています。境内もツツジ・ツツジ。その隙間から切れ切れに差し込む日射しが、境内のそこかしこに赤い光を映し、ふだんとは違う新しい感動を与えてくれます。



境内にて



山門前



安国論寺、道沿いの垣根

まだ時間がある方は、**安国論寺**へ足を運んでみて下さい。静かな境内に、ひたすらゆっくりと流れる時間。すると心がほどけるような感覚。素朴でやさしくてどこか懐かしい『大町らしさ』がここにも息づいています。